

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

<b>事業名</b> 国道432号菅原広瀬バイパス <small>すがはらひろせ</small>		<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 島根県	
<b>起終点</b> 自：島根県能義郡広瀬町菅原 <small>しまねけんのぎぐんひろせまちすがはら</small> 至：島根県能義郡広瀬町祖父谷 <small>しまねけんのぎぐんひろせまちおじだに</small>		<b>延長</b> 3.8 km		
<b>事業概要</b> 一般国道432号は、広島県竹原市を起点とし島根県松江市に至る山陽・山陰を結ぶ幹線道路である。本事業は、一般国道432号の幅員狭小と線形不良区間の解消を目的とした、島根県能義郡広瀬町から同町祖父谷に至る延長3.8kmの道路整備を行うものである。 <small>ひろしまけんたけはらし</small> <small>しまねけんまつえし</small>				
<b>事業の目的、必要性</b> 当該区間の国道432号は、急峻な山沿いを通過しており幅員が狭小で道路線形も悪く、H8防災点検箇所の要対策箇所が存在している。菅原広瀬バイパスは、広瀬町地内における交通の安全性向上の他、広瀬町の開発計画の基盤を担う道路となるものである。				
<b>全体事業費</b>	約38億円		<b>計画交通量(H23)</b>	5,200台/日
<b>費用便益比</b>	<b>B/C</b>	<b>総費用</b>	<b>総便益</b>	<b>基準年</b>
	1.6	39億円 事業費：32億円 維持管理費：7億円	63億円 走行時間短縮便益：61億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：1億円	平成15年
<b>事業の効果等</b> 菅原広瀬バイパスの整備により、狭隘区間・線形不良区間が解消されることとなり、道路防災にも優れ、安全で円滑な交通が確保される。更に、広瀬町中心部の住家連担地から通過交通を排除することが可能となる等、客観的評価指標に示される17項目の内、5項目に該当する。				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地元は、現道の狭隘区間、線形不良区間、及び落石崩壊危険箇所もあることから「菅原・広瀬」間の国道432号の整備を強く要望している。また、住民へのアンケート調査を行うなど、国道432号の整備をまちづくりの核として位置付け期待が高い。 <small>すがはら</small> <small>ひろせ</small>				
<b>事業概要図</b>				
<p>全体延長 L=3,800m</p>				